

吉原健一郎教授 略年譜・主要編著・論文目録

略年譜

- 一九三八（昭和一三）・八・一 東京市杉並区に生まれる
- 一九四五（昭和二〇）・四 東京都目黒区立八雲国民学校に入学
- 一九五一（昭和二六）・三 同八雲小学校卒業
- 一九五一（同 年）・四 東京都目黒区立第十中学校入学
- 一九五四（昭和二九）・三 同校卒業
- 一九五四（同 年）・四 東京都立大学付属高等学校入学
- 一九五七（昭和三二）・三 同校卒業
- 一九五八（昭和三三）・四 東京教育大学文学部史学科入学
- 一九六三（昭和三八）・三 同大学同学部卒業
- 一九六三（同 年）・四 同大学大学院文学研究科修士課程入学

一九六四（昭和三九）・四 静岡県清水市史編纂委員会嘱託

（一九六七・三まで）

一九六七（昭和四二）・三 東京教育大学大学院文学研究科修士課程修了

一九六七（同 年）・四 東京都総務局都政史料館勤務

（一九六八・一〇東京都公文書館と改称）

一九八三（昭和五八）・三 東京都公文書館退職

一九八三（同 年）・四 成城大学文芸学部勤務

（助教授のち教授）

二〇〇九（平成二一）・三 同大学同学部退職

〔学内役員など〕

大学学生部長、就職部長、民俗学研究所長、文学研究科長、学園評議員

〔兼任講師など〕

東京大学客員教授、東京大学史料編纂所・お茶の水女子大学・中央大学・法政大学・慶応大学・明治大学・学習院大学兼任講師

〔国・自治体委員など〕

国立歴史民俗博物館展示プロジェクト委員、江戸東京博物館建設懇談会プロジェクト委員・同資料収集委員・同運営委員、国文学研究資料館運営協議員・同評議員、江東区民憲章策定区民会議委員長、江東区・千代田区・港区・墨田区・世田谷区文化財保護審議会委員

〔学会役員〕

地方史研究協議会常任委員・同幹事長・同監事、歴史地理学会常任委員、歴史学会理事・会長、日本歴史学協会委員

〔表彰〕

千代田区教育功勞 (一九九三年)
世田谷区政功勞 (一九九七年)
港区政功勞者 (一九九九年)
江東区自治功勞者 (二〇〇一年)
千代田区教育文化功勞 (二〇〇八年)
千代田区功勞 (二〇〇九年)

主要編著・論文目録

〔編著〕

- 江戸時代図誌4（江戸1）、筑摩書房、一九七五
- 江戸の情報屋、日本放送出版協会、一九七八
- 江戸の町役人、〈江戸〉選書4、吉川弘文館、一九八〇
- 内藤新宿（都市紀要二十九）、東京都、一九八三
- 江戸学事典、弘文堂、一九八四
- 江戸っ子（少年少女 人物日本の歴史22）、小学館、一九八七
- 深川文化史の研究、上・下、江東区役所、一九八七
- 江戸東京学事典、三省堂、一九八七
- 江戸東京年表、小学館、一九九三
- 復元 江戸情報地図、朝日新聞社、一九九四
- 江東区史、江東区、一九九七
- 台東区史、上、台東区、一九九七
- 落書というメディア、教育出版、一九九九

東京都の地名（日本歴史地名体系13）、平凡社、二〇〇二

江戸の銭と庶民の暮らし、同成社、二〇〇三

〔論文〕

歴史学における封建制研究の位置『史潮』100、一九六七

幕末期江戸町人の存在形態『江戸町人の研究』第1巻、吉川弘文館、一九七二
町年寄『江戸町人の研究』第4巻、吉川弘文館、一九七五

元文の貨幣改鑄と江戸の銭相場『近世封建支配と民衆社会』弘文堂、一九七五

江戸木挽仲間と徒弟制度『文化財の保護』9、東京都教育委員会、一九七七

「藤岡屋日記」に見る江戸庶民『地方文化の日本史』文一総合出版、一九七八

江戸橋広小路の形成と構造『歴史地理学会報』101、一九七八

都市民衆生活史の視点―江戸を中心に―『地方史研究』159、一九七九

宝暦〜明和期の江戸銭相場について『近世国家の展開』塙書房、一九八〇

寛政改革と江戸板木屋仲間『日本文化史研究』笠間書院、一九八〇

江戸板木屋仲間と違法印刷―化政期を中心に―『文学』49―11、一九八一

江戸の石問屋仲間『三浦古文化』31、一九八二

近世都市の商工業『中世史講座』第3巻、学生社、一九八二

近世都市の手工業『技術の社会史』第2巻、有斐閣、一九八二

都市と情報』講座 日本封建都市』第2巻、文一総合出版、一九八二

江戸・東京研究と地図集の刊行『史潮』新14、一九八三

江戸の「町」共同体について『歴史と地理』340、一九八三

江戸・明治期の住吉神社祭礼『中央区佃島地区文化財調査報告』東京都教育委員会、一九八四

江戸時代の情報伝達『言語』13-12、一九八四

幕末の江戸板木屋仲間『江戸の民衆と社会』吉川弘文館、一九八五

鈴木三右衛門の江戸町屋敷経営『日本地域史研究』文献出版、一九八六

水の都・深川成立史『深川文化史の研究』下、江東区役所、一九八七

江戸・東京学の現状『史潮』新24、一九八八

東海道の起点としての江戸『幕末の農民群像―東海道と江戸湾をめぐって―』横浜開港記念館、一九八八

銭相場所について『芭蕉記念館資料目録Ⅱ―牧野家文書―』江東区芭蕉記念館、一九八九

近世中後期地主制の展開と地域市場の形成―清水湊周辺村落の場合―(1)『成城大学文芸学部 創立

三十五周年記念論文集』一九八九

- 近世中後期地主制の展開と地域市場の形成―清水湊周辺村落の場合―(2) 『成城文芸』 126、一九八九
- 近世中後期地主制の展開と地域市場の形成―清水湊周辺村落の場合―(3) 『成城文芸』 127、一九八九
- 寛永期江戸の土地売買 『日本常民文化紀要』 17、一九九四
- 上野山下の遊興空間(上) 『日本常民文化紀要』 18、一九九五
- 上野山下の遊興空間(下) 『日本常民文化紀要』 19、一九九六
- 江戸の都市空間 『行政管理』 386、一九九七
- 「藤岡屋日記」を中心に嘉永文化を見る 『幕末学のみかた』 朝日新聞社、一九九八
- 江戸天王祭覚書 『日本常民文化紀要』 21、二〇〇〇
- 町名主の文化活動 『江戸の郷土誌』 千代田区文化財調査報告書14、千代田区教育委員会、二〇〇二
- 江戸おんなの性―岡場所と町家のあいだ 『春画江戸ごよみ』 春の巻、作品社、二〇〇二
- 「夕栄」に込められた嘉永文化 『江戸の夕栄』 中公文庫、二〇〇五
- 嘉永文化論 『江戸町人の研究』 第六卷、吉川弘文館、二〇〇六
- 草創名主矢部家の系譜について 『千代田の古文書』 千代田区文化財調査報告書、千代田区教育委員会、二〇〇九